

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和4年11月2日		使用開始日																						
登録診療科	乳腺外科		申請医師	小西 宗治	化学療法委員会承認年月																				
レジメン名	キイトルーダ+パクリタキセル+カルボプラチン																								
疾患名	乳がん		適応の備考	ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌における術前薬物療法①																					
適応分類	術前化学療法																								
1コース日数	21	日間	総コース数	4	コース 催吐性リスク 中等度																				
抗がん剤投与量・投与日	キイトルーダ200mg/body day1 パクリタキセル80mg/m ² day1.8.15、カルボプラチン1.5AUC/body day1.8.15																								
治療スケジュール・投与日程（投与日は●）	(day)																								
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食20mL	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射		/																						
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	中心静脈注射		/																						
3	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射	キイトルーダ	200 mg / body	30 分	●																				
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	中心静脈注射		/																						
5	主ルート	ハロセトン注ハック0.75mg/50mL	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●																				
		ファモチジン注20mg	1 本 / body		●																				
6	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射	パクリタキセル	80 mg / m ²	60 分	●																				
7	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																				
	中心静脈注射	カルボプラチン注	1.5 AUC / body	30 分	●																				
8	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	中心静脈注射		/																						
	経口投与	レスタミンコーワ錠	5 錠 / body		●																				
	パクリタキセル投与の30分前																								

【投与上の注意】

キイトルーダ：0.2～5μmのインラインフィルターを使用して投与する。

キイトルーダ：希釈後の最終濃度を1～10mg/mLとする。

キイトルーダ：Infusion reaction経験例では次回より投与前1.5時間(±30分)に以下の薬剤で前処置を行う。

・レスタミン5錠経口投与(又は同等の抗ヒスタミン薬)

・アセトアミノフェン500～1,000mg経口投与(又は同等の解熱剤)

パクリタキセル：前投薬としてレスタミン5錠の内服、デキサート注、ファモチジン20mg静注が必要。

パクリタキセル：DEHPフリー(フィルターつき)点滴セット使用。0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを使用し投与すること。

パクリタキセル：アルコール不耐症がないことを確認する。

◆有害事象による薬剤中止時の対応◆

パクリタキセル中止の場合：レジメンの中止(キイトルーダ+パクリタキセル+カルボプラチン全て中止) → 術前薬物療法②キイトルーダ+EC投与 → 術後薬物療法キイトルーダ投与

カルボプラチン中止の場合：パクリタキセル+キイトルーダのみ継続投与 → 術前薬物療法②キイトルーダ+EC投与 → 術後薬物療法キイトルーダ投与

キイトルーダ中止の場合：パクリタキセル+カルボプラチンのみ継続投与 → 術前薬物療法②EC投与 → 術後薬物療法キイトルーダ中止

詳細フローチャートは次ページ参照

◆有害事象による薬剤中止時の対応◆

パクリタキセル中止の場合：レジメンの中止（キイトルーダ+パクリタキセル+カルボプラチン全て中止）→術前薬物療法②キイトルーダ+EC投与→術後薬物療法キイトルーダ投与
 カルボプラチン中止の場合：パクリタキセル+キイトルーダのみ継続投与→術前薬物療法②キイトルーダ+EC投与→術後薬物療法キイトルーダ投与
 キイトルーダ中止の場合：パクリタキセル+カルボプラチンのみ継続投与→術前薬物療法②EC投与→術後薬物療法キイトルーダ中止

■ 術前薬物療法①の薬剤中止時の対応

